

# 白鳥庭園・徳川園のチョウ

## 森林性のチョウ



ST

●アオスジアゲハ



ST

●ナミアゲハ

アゲハ類は春～秋口の主演。

クスノキに卵を産むため、園の内外にクスノキの多い白鳥庭園・徳川園ではよく見かけます。

ナミアゲハの幼虫は、ミカン科（カラタチ、サンショウなど）の葉を食べて育ちます。

## 季節を問わず見かける

S 白鳥庭園  
T 徳川園

- アゲハチョウ科
- シロチョウ科
- △ シジミチョウ科
- ◆ タテハチョウ科
- ▲ セセリチョウ科

## 草原性のチョウ



ST



ST

△ヤマトシジミ

年中みられますが秋には急増。

草地や植込みの足元などに生えるカタバミが、食草・蜜源。

◆ツマグロヒョウモン ♂/♀

元来は暖地性ですが、近年はすっかりおなじみに…。幼虫のエサはスミレの葉、成虫は多様な花で蜜を吸います。



ST

△ウラギンシジミ

秋になると、樹冠や林縁に銀白色の翅が映えます。幼虫のエサはマメ科、成虫の蜜源は腐果や獣糞です。



ST

○キタキチョウ

秋が深まると市街地にも下りてきて、成虫のまま越冬します。ハギやツワブキの蜜を吸います。

## 春 or 秋に見かける

春先に、越冬明けの個体を見かけることも…。



ST

○モンシロチョウ

春～初夏。アブラナ科に卵を産み、タンポポなど多様な花で吸蜜します。



ST

△ウラナミシジミ

秋、ハギに群らがる姿を見かけます。



ST

▲イチモンジセセリ

秋、ハギなどで蜜を吸います。イネ科（チガヤなど）が食草。



ST

## ●クローアゲハ

やや暗い所が好き。



ST

## ●ナガサキアゲハ

元来暖地性のナガサキアゲハやモンキアゲハですが、最近は結構見かけるようになりました。



ST

## ●モンキアゲハ

運が良いと  
出会う

S

## ●キアゲハ

セリ科(セリ、ミツバ、バセリなど)が食草。



ST

## ○モンキチョウ

マメ科(シロツメクサ、レンゲなど)が食草。



ST

## ▲チャバネセセリ

イチモンジセセリと同様、秋に見かけます。イネ科が食草。



S

## ▲キマダラセセリ

イチモンジセセリと同様にイネ科が食草。



S

## △ルリリシジミ

マメ科(ハギなど)やタデ科(イタドリなど)が食草。



S

## △ムラサキツバメ

どちらも照葉樹林好きで、日中は不活発。ムラサキツバメはマテバシイ、ムラサキシジミはアラカシが食草。ムラサキツバメには尾状突起がある。



ST

## △ムラサキシジミ



T

## △ベニシジミ

スイバやギシギシ類が食草。



S

## △ツバメシジミ

ヤマトシジミと似ていますが、橙色斑紋と尾状突起が目印。



ST

## ◆ルリタテハ

ホトトギスやサルトリイバラに産卵。腐果や獣糞で吸蜜。



ST

## ◆テングチョウ

食草：エノキ。  
蜜源：各種花(テング)、腐果・樹液(ゴマダラ)  
羽化直後、路上の湿った所などで吸水。

S

## ◆ゴマダラチョウ



ST

## ◆アサギマダラ

秋、南の島へ渡る途中で立ち寄って栄養補給(2020は10月下旬だった)。



S

## ◆ヒメアカタテハ

秋、明るい草場が好き。都市部では秋になると個体数が増加します。



S

## ◆キタテハ

カナムグラが食草。明るい草場が好き。



S

## ◆ヒメウラナミジャンメ

イネ科が食草。草地の上をチョコチョコ跳ねるように飛びます。